

○取組の概要

- 父親の作るMK農産の米を委託製粉し、放し飼いの有精卵などを使用して、平成21年から娘が地産地消の米粉パンを製造販売するとともに、新規需要米の生産を拡大。



【取り組むに至った経緯】

- MK農産の米や卵を使い、地産地消の加工品を開発しようとする中で、娘が米工房Jasmineを立ち上げ米粉パンの製造販売に取り組む。

【生じた課題への対応方法】

- 米粉パン製造講習会への参加や展示会等での商品化を研鑽。
- 移動販売やイベント販売による顧客作り。

【取組の効果】

- 米工房Jasmine部門の売上高は4倍(H21→H22)に増加。
- 新規需要米の作付面積4.5a(H21)→229.4a(H22)

【取り組む際に生じた課題】

- 製造販売のノウハウの不足。
- 農村地域への集客。

【活用した支援施策(補助事業等)】

- とやま新事業創造基金 農商工連携ファンド事業 (H22 財団法人富山県新世紀産業機構)

【今後の展望】

- 新品種(米)と米粉製品の開発(米粉麺)。委託製粉による米粉販売、農家レストランの開業、社会福祉法人と連携した米粉パン新店舗開業を進めることとしている。

成功のポイント！！

- 地元産品の積極的使用により地域の消費者の応援が得られた
父親経営のMK農産の農産物を始め、積極的に地元産の材料を使用して商品を開発・販売することで、地域の消費者の購入などの応援が得られたことが、次の事業展開につながった。
- レシピを増やすとともに口コミなどを活かしてファンづくり
豊富なレシピで商品の多様化を図るとともに、口コミ、地域マスコミの報道などの効果を活かした積極的な販売活動が販路の拡大につながる。
- 既存の人脈を含めた多様な人との関わり
新設される米粉製粉工場の関係者や顧問契約しているベーカリーコンサルタントなど多様な人との関わりを持つことで様々な事業展開が視野に入ってきた。